

埼玉県立川越高等学校を巣立ち行く諸君に、同窓会を代表し心からのおよるこびを申し上げますと共に、豊かな知識と品格を備えた新進気鋭の諸君を多数仲間としてお迎え出来ることに、大きな期待と喜びを抱き諸手を挙げて歓迎いたします。是非諸君のお力をお貸しいただきわが同窓会に新風をもたらし、二十一世紀に相応しい同窓会として脱皮出来まますようにと心から願っています。

さて、わが同窓会は、学校開設(一九九九年)に遅れること八年の一九〇七年に発会したとの記録がありますから、ほぼ百年に及ぶ長い歴史を有しております。その間の旧制中学校・高校(全・定)卒業生は二万九千余名に達し、これらの仲間が同窓の絆の強化・母校への協力を目標に同窓会に結集し、尽力して参りました。また、個人としても国際的規模で夫々の先人が社会に持てる力を發揮し、川高健児の意気を示して来たことも誇るべきことであります。最近では、平成十一年に迎えた母校創立百周年記念事業に際して、全面的な協力的体制をとり、特に約一億円に達した協力募金額を見て、諸先輩の母校を愛し、期待する気持ちの大きさが如何ばかりかと推察出来るのであります。そして、これらが施設設

備の充実に生かされ、現に存在する後輩諸君に便利に活用していただいていることも嬉しい限りであります。まだまだ同窓会の活動分野・範囲については検討し改善すべき余地が多く残されていると思っております。是非、進んで諸君からのご意見をお待ちいたしております。

諸君の生活する現在は、第二次世界大戦と言った不幸な出来事を反省し、再び戦禍の起こる

しい実績を収めて川高の名を天下に知らしめたり、部活動等にも見るべき成果を挙げ、また、世間の注目を集める効果も生まれ、人間育成の面でも「さすが川高」と言われるようになってきたのであります。実は、第二次大戦中、旧制中学校に在学していた私は、中学二年生の後半から三年生の八月まで、言わば青春の真っ只中を通年動員(学校を留守にして戦場で働く)と

先輩をお招きし、時局講演会を持ち、教養と知識を高めて好評を得ております。更に総会後には懇親の場も設け、共に「紫句う：」の校歌を合唱し、先輩・後輩の絆、友情等を温め同窓の絆の強化に努めております。又、秋には散策会(今年、東京での予定)を計画し名所旧跡を見学し、時代の先端施設に触れたりして感覚のリフレッシュ効果をあげております。更に、県内各地区はもとより東京や遠く大阪にも地区組織(初雁会)があり、年に何回かの集まりを持ち、情報交換を行い、時には人生のアドバイスを受けてたり、懇親の実をあげ喜ばれております。実際に社会に出てみると同窓生間の友情、川高で学んで良かったという体験をきくと肌で感じるでしょう。その意味からもこれらの会に積極的にご参加いただければ幸いに存じます。学校の評価は当然乍ら在校生の動向にかかって居りますが、それと並んで、否、それ以上に卒業生の活躍ぶりが大いなる要素となっております。母校のますますの発展の為、諸君のころからの獅子奮迅の活躍を心から望みます。二十一世紀の中核たるべき諸君の限りない前途を祝し、贈る言葉といたします。

平成十六年三月九日(火)

# 贈る言葉

埼玉県立川越高等学校同窓会会長 渋谷 健

こと無きを期して再スタートして半世紀が経過いたしました。依然として世界各地に紛争等が起こっており、ごく近くの北東アジアでもきな臭い要素が存在していることは極めて残念であります。しかし、その中にも、平和を求め、ひたすら学業に励み、部活動に汗を流し、人格の陶冶に努めてこられた諸君は、恵まれていたと思えます。その結果、大学進学等にめざま

言う状況置かれ、学業はおろか、部活動など一切出来なかったのであります。私は、朝霞にあった陸軍被服廠に動員されて防空壕掘りやトロッコ押し等の力仕事に追われ、空襲警報が鳴った僅かな時間に本に接することが出来た程度でありました。もとより勉強好きではなかった私も、この時ばかりは寸暇を惜しんで書物を漁った記憶が思い出されます。それに引き換え、今日で

の中に、素晴らしい力を備え、豊かな人生を送りつつ有るものも居ることを考えますと、要は個人の気の持ちよう、努力如何かも知れませんが。

さて、ここで諸君をお迎えする同窓会の動きについて若干触れますが、恒例の行事としては毎年五月第二日曜日、母校を会場に定期総会が開かれます。決算・行事報告等に続き、同窓生の中で各界でご活躍されている

先輩をお招きし、時局講演会を持ち、教養と知識を高めて好評を得ております。更に総会後には懇親の場も設け、共に「紫句う：」の校歌を合唱し、先輩・後輩の絆、友情等を温め同窓の絆の強化に努めております。又、秋には散策会(今年、東京での予定)を計画し名所旧跡を見学し、時代の先端施設に触れたりして感覚のリフレッシュ効果をあげております。更に、県内各地区はもとより東京や遠く大阪にも地区組織(初雁会)があり、年に何回かの集まりを持ち、情報交換を行い、時には人生のアドバイスを受けてたり、懇親の実をあげ喜ばれております。実際に社会に出てみると同窓生間の友情、川高で学んで良かったという体験をきくと肌で感じるでしょう。その意味からもこれらの会に積極的にご参加いただければ幸いに存じます。学校の評価は当然乍ら在校生の動向にかかって居りますが、それと並んで、否、それ以上に卒業生の活躍ぶりが大いなる要素となっております。母校のますますの発展の為、諸君のころからの獅子奮迅の活躍を心から望みます。二十一世紀の中核たるべき諸君の限りない前途を祝し、贈る言葉といたします。